



令和5年3月23日(木)
令和4年度福井県国保ヘルスアップ支援事業
福井県薬剤適正使用スタートアップ研修会

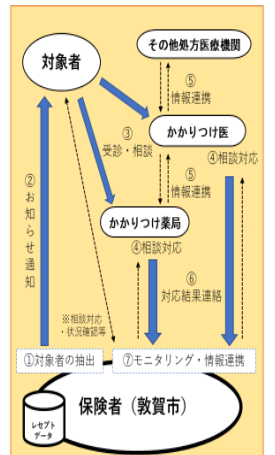
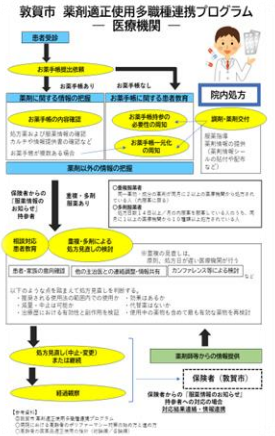
敦賀市医師会の取り組みについて

敦賀市医師会
熊谷 将史

敦賀市医師会の役割

敦賀市薬剤適正使用多職種連携検討会に参加
(医師会顧問 川上 究先生、理事 熊谷 将史)

- ① 敦賀市薬剤適正使用多職種連携プログラムの作成・実行・評価
- ② 敦賀市内の医療機関、薬局等への本事業の周知
 - ・ 医療機関、薬局へのアンケートの実施(計3回)
 - ・ 敦賀市薬剤適正使用多職種連携プログラムスタートアップ研修会(令和4年1月)
 - ・ 敦賀市医師会理事会での事業の経過報告
- ③ 国保データベース(KDB)による重複・多剤対象者の抽出状況の評価、各事例の検討 → 薬剤師会 角野先生



令和4年度 敦賀市薬剤適正使用多職種連携体制検討事業 検討会委員名簿(1)

		所属		役職	氏名
委員	医師会	敦賀市医師会	川上医院	顧問	川上 究
		敦賀市医師会	くまがい内科 クリニック	理事	熊谷 将史
	薬剤師会	敦賀市薬剤師会	カドノ薬局	理事	角野 雅之
		敦賀市薬剤師会	あわの薬局	管理者	佐々木 一友
	医療機関	市立敦賀病院		事業管理者・院長	太田 肇
		市立敦賀病院		理事	荒木 隆一
		市立敦賀病院		薬剤部長	佐藤 友美
		敦賀医療センター		内科医長	森島 繁
		敦賀医療センター		薬剤部長	古川 順章
		猪原病院		理事長	猪原 久貴
	訪問看護	リハぷらす地域看護 ステーション ブルーバード		看護師	渡辺 小百合
	保健所	福井県二州健康福祉センター		所長	久住 健一
	保険者	敦賀市	健康推進課	課長	笹田 みつぎ
			国保年金課	主幹	谷川 昌幸

令和4年度 敦賀市薬剤適正使用多職種連携体制検討事業
検討会委員名簿(2)

事務局	県	福井県健康福祉部健康政策課		課長	加藤 和彦	
				参事	石川 嘉代	
				総括主任	仲橋 立子	
				企画主査	飯島 克枝	
		福井県二州健康福祉センター		福祉保健	次長	谷口 孝子
				地域保健課	課長	谷口 美穂
					主査	千田 江里
				委託先	福井県国民健康保険 団体連合会	
		主事	伊藤 珠美			

多職種が集まり、敦賀市における薬剤適正使用多職種
連携プログラムを作成

第1回 薬剤適正使用に関するアンケート結果(抜粋) 令和3年9月

【調査目的】

敦賀市内医療機関および薬局における重複・多剤服薬に対する取組み状況等を把握し、事業の参考およびプログラムの評価を行うこと

【回答状況】

	対象 機関数	回答機関数	回答率
病院	5	3	60.0%
診療所	33	12	36.4%
薬局	29	17	58.6%
合計	68	32	47.8%

医療機関・薬局における薬剤適正使用・
ポリファーマシーに対する意識を確認

【薬剤適正使用に関する取組み概要】

	①ポリファーマシー対策の 取組み			②薬に関する 地域連携担当職員の配置			③薬剤適正使用に関する 職員への啓発や研修		
	あり	なし	無回答	あり	なし	無回答	あり	なし	無回答
診療所(12)	4	7	1	1	11	0	2	10	0
薬 局(17)	10	6	1	7	9	1	12	4	1
合計(29)	14	13	2	8	20	1	14	14	1
	48.3%	44.8%	6.9%	27.6%	69.0%	3.4%	48.3%	48.3%	3.4%

【お薬手帳に関すること】

第1回 薬剤適正使用に関するアンケート結果

	①お薬手帳の提出依頼				②複数のお薬手帳を保持していないかの確認			
	必ず している	時々 している	あまりして いない	して いない	必ず している	時々 している	あまりして いない	して いない
診療所	8	4	0	0	3	5	2	2
薬局	15	2		0	4	10	2	1
合計	23	6	0	0	7	15	4	3
	79.3%	20.7%	0.0%	0.0%	24.1%	51.7%	13.8%	10.4%

	③お薬手帳の持参率(直近3ヶ月程度)			
	80%以上	50～80%	10～30%	10%以下
診療所	4	4	2	2
薬局	5	12	0	0
合計	9	16	2	2
	31.0%	55.2%	6.9%	6.9%

④お薬手帳未持参患者への対応 ※複数回答					
	お薬手帳 の必要性 の説明	新しい手 帳を渡す	薬剤情報 シールを 渡す	何もして いない	その他
診療所	6	2	2	6	2
薬局	15	8	15	0	1
合計	21	10	17	6	3
	72.4%	34.5%	58.6%	20.7%	10.3%

⑤お薬手帳を用いた処方薬情報の確認					
	必ず している	時々 している	あまりし ていない	して いない	無回答
診療所	8	4	0	0	0
薬局	15	1	0	0	1
合計	23	5	0	0	1
	79.3%	17.2%	0.0%	0.0%	3.5%

お薬手帳の内容を 確認している医師数	
入院診療時	外来診療時
35	36
89.7%	92.3%

病院医師 (n=39)

お薬手帳の1冊化

持参率の向上が必要

【処方薬の見直しに関すること】

診療所における重複・多剤処方確認した場合の対応 (n=12) ※複数回答	
① 自らの処方を見直す	9 75.0%
② 処方医師間で情報連携する	1 8.3%
③ 患者に重複・多剤処方に関する情報提供をする	6 50.0%
④ 患者の健康状態(副作用等)について確認する	4 33.3%
⑤ 患者の意向を確認する	4 33.3%
⑥ 院内で対応を検討する	0 0.0%
⑦ あまり気にしない	0 0.0%
⑧ 何もしていない	0 0.0%
⑨ その他	0 0.0%

薬局における重複・多剤処方を確認した場合の対応 (n=17) ※複数回答	
① 処方医に情報提供する	12 70.6%
② 患者に重複・多剤に関する情報提供をする	14 82.4%
③ 患者の健康状態(副作用など)について確認する	9 53.0%
④ 患者の意向を確認する	11 64.7%
⑤ 薬局内で対応を検討する	4 23.5%
⑥ あまり気にしていない	0 0.0%
⑦ 何も対応していない	1 5.9%
⑧ その他	0 0.0%

地域の医療機関や薬局と情報連携を行ったことがある病院医師数 (n=39)	
入院診療時	外来診療時
8	16
20.5%	41.0%

処方医師間での情報連携や薬剤師からの報告により、重複・多剤処方の見直しにつながった事例も報告がある。プログラム開始前より積極的に薬剤適正使用を心掛けている医療機関・薬局がある。

一方で、病院と診療所・薬局との連携が不十分な印象。

敦賀市薬剤適正使用多職種連携プログラムスタートアップ研修会

敦賀市薬剤適正使用多職種連携プログラム スタートアップ研修会

日時: 2022 年 1 月 24 日 (月) 19:30~21:00

場所: Web 開催(敦賀市医師会館から ZOOM でライブ配信)

プログラム

<内容>

1. ご挨拶

敦賀市医師会会長 神谷 敬一郎

2. 本事業の意義と目的について

二州健康福祉センター医監 高木 和貴

3. 敦賀市薬剤適正使用多職種連携プログラムについて

福井県健康政策課企画主査 飯島 克枝

4. 敦賀市医師会の取り組みについて

敦賀市医師会理事 熊谷 将史

5. 敦賀市薬剤師会の取り組みについて

敦賀市薬剤師会理事 角野 雅之

6. 病院の取り組みについて

市立敦賀病院院長 太田 肇

7. 閉会のご挨拶

敦賀市国保年金課主幹 中島 正登

お問合せ先 敦賀市医師会事務局 0770-24-3131 info@tsuruga-med.or.jp
カドノ薬局市立敦賀病院前店 角野 雅之 0770-22-0880



医療機関(病院、診療所、薬局)へ
プログラム開始を通知

第2回 薬剤適正使用に関するアンケート結果(抜粋) 令和4年3月

【回答状況】

	対象 機関数	回答機関数		回答率	
		前回	今回	前回	今回
病院	5	3	3	60.0%	60.0%
診療所	33	12	24	36.4%	72.7%
薬局	29	17	22	58.6%	75.9%
合計	67	32	49	47.8%	73.1%

回答率が上昇
具体的なポリファーマシー
対策に課題

【薬剤適正使用に関する取り組み概要】

ポリファーマシー対策				敦賀市版プログラムの職員への周知		
	あり	なし	無回答	した	していない	無回答
病院(3)	2	1	0	3	0	0
診療所(24)	11	12	1	18	6	0
薬局(22)	16	3	3	18	3	1
合計(49)	29	16	4	39	9	1
	59.2%	32.6%	8.2%	79.6%	18.4%	2.0%

【お薬手帳に関すること】

	①お薬手帳の提出依頼				②複数のお薬手帳を保持していないかの確認			
	必ず している	時々 している	あまりして いない	して いない	必ず している	時々 している	あまりして いない	して いない
診療所(24)	16	5	1	2	10	4	8	2
薬局(22)	21	1	0	0	11	10	1	0
合計(46)	37	6	1	2	21	14	9	2
	80.4%	13.0%	2.2%	4.3%	45.7%	30.4%	19.6%	4.3%

	③お薬手帳の持参率(直近3ヶ月程度)							
	80%以上		50～80%		10～30%		10%以下	
	前回	今回	前回	今回	前回	今回	前回	今回
診療所(24)	4	3	4	10	2	8	2	3
薬局(22)	5	8	12	13	0	1	0	0
合計(46)	9	11	16	23	2	9	2	3
	—	23.9%	—	50.0%	—	19.6%	—	6.5%

④お薬手帳未持参患者への対応 ※複数回答					
	お薬手帳 の必要性 の説明	新しい手 帳を渡す	薬剤情報 シールを 渡す	何もしてい ない	その他
診療所(24)	17	2	4	4	3
薬局(22)	18	14	17	0	1
合計(46)	35	16	21	4	4
	76.1%	35.6%	46.7%	8.9%	8.9%

⑤お薬手帳を用いた処方薬情報の確認				
	必ず している	時々 している	あまりして いない	して いない
診療(24)	14	6	2	2
薬局(22)	18	4	0	0
合計(46)	32	10	2	2
	69.6%	21.8%	4.3%	4.3%

【敦賀市薬剤適正使用多職種連携プログラムにおける「服薬情報お知らせ」に関すること】

	服薬情報の お知らせ 持参あり	持参者および対応状況				
		持参患者数	処方見直の 必要があった 件数	見直した件数	情報連携した 件数	保険者への 回答
病院(3)	2	4	0	0	0	0
診療所(24)	7	13	7	5	2	8
薬局(22)	8	15	6	3	6	8
合計(49)	17	32	13	8	8	16

服薬情報のお知らせ（様式1）

通院中の皆様へ

このお知らせは、一定期間内に、いくつかの医療機関から同じ効果のあるお薬が処方されていたり、多くの種類のお薬が処方されていたりする可能性のある方にお送りしています。

次回受診する際、かかりつけ医療機関または薬局へ、次の2点を持参してください。

①今回お送りしたお知らせ一式（様式1～3）

②お薬手帳（使用しているもの全て）



お薬の
重なりや飲み合わせを
チェックして
健康被害を防止！

おくすり手帳

※ 現在の状況と異なる場合や医師が治療に必要と判断で処方されている場合に受け取られた際は、ご容赦ください。

＜このお知らせに関するお問合せ先＞
敦賀市国民年金課 0770-22-8119

敦賀市・敦賀市医師会・敦賀市薬剤師会・福井県

様式2

【通知番号】〇〇〇〇

服薬情報相談対応連絡票（敦賀市⇄医療機関・薬局）

令和 年 月 日

医療機関および薬局関係者の皆様

薬類・多剤の可能性ある対象者の方に「服薬情報のお知らせ」を送付しましたので、対象者からの相談があった場合、薬類やお薬手帳等により処方内容を御確認くださるようお願いいたします。また、対応結果を下記により敦賀市まで御届出くださるようお願いいたします。
※一定期間の診療・処方状況をもとに対象者を抽出しております。現在の状況と異なる場合や医師が治療に必要な判断で処方されている場合には、ご容赦ください。

敦賀市国民年金課

医療機関・薬局専用

敦賀市国民年金課 へて（FAX）

相談対応結果

1）対象者に説明した後、記入してください。

☐相談対応について敦賀市に伝えることを説明し、同意を得た。

2）相談対応機関（該当箇所にご記入ください。）⇒ ☐医療機関 ☐薬局

医療機関・薬局名

連絡先

対応者（科名・担当者等）

対応日 令和 年 月 日

3）相談対応状況（該当箇所にご記入ください。）

（1）処方箋の見直しや調整 ⇒ ☐必要 ☐不要

（2）処方箋の見直しや調整が必要な場合

＜医療機関＞

☐自院で見直しを行った

☐他医療機関へ情報提供して調整を依頼した（※詳細は下記参照）

⇒（結果） ☐見直しあり ☐見直しなし ☐不明

☐他医療機関や薬局で相談するよう助言した

☐その他（ ）

＜薬局＞

☐医療機関へ情報提供して調整を依頼した（※詳細は下記参照）

⇒（結果） ☐見直しあり ☐見直しなし ☐不明

☐他家機関や他家薬局で相談するよう助言した

☐その他（ ）

（3）見直しをされた場合、見直した内容について御記入ください。
※記入内容「〇〇〇の薬を中止した」「〇〇〇の薬を減らした」など

様式3

〇〇〇〇病院・薬局 御中

令和 年 月 日

服薬情報提供書（医療機関・薬局⇄医療機関・薬局）

情報提供内容 下記のとおり情報提供いたします。ご高配頂きますようお願い申し上げます。

＜情報提供元機関＞

〇〇〇科

〇〇〇〇 先生 御待立

＜患者＞

氏名：〇〇 〇〇 男・女

生年月日： 年 月 日

＜情報提供先機関＞

＜担当番号＞

☐医師（ ）

☐薬剤師（ ）

☐その他（ ）

☐情報も伝えることに就いて患者の同意を得ています。

＜内容＞

同意結果 情報提供ありがとうございます。対応結果について、下記のとおり報告いたします。

＜情報提供元機関＞

〇〇〇科

〇〇〇〇 先生 御待立

＜患者＞

氏名：〇〇 〇〇 男・女

生年月日： 年 月 日

＜担当番号＞

☐医師（ ）

☐薬剤師（ ）

☐その他（ ）

＜内容＞

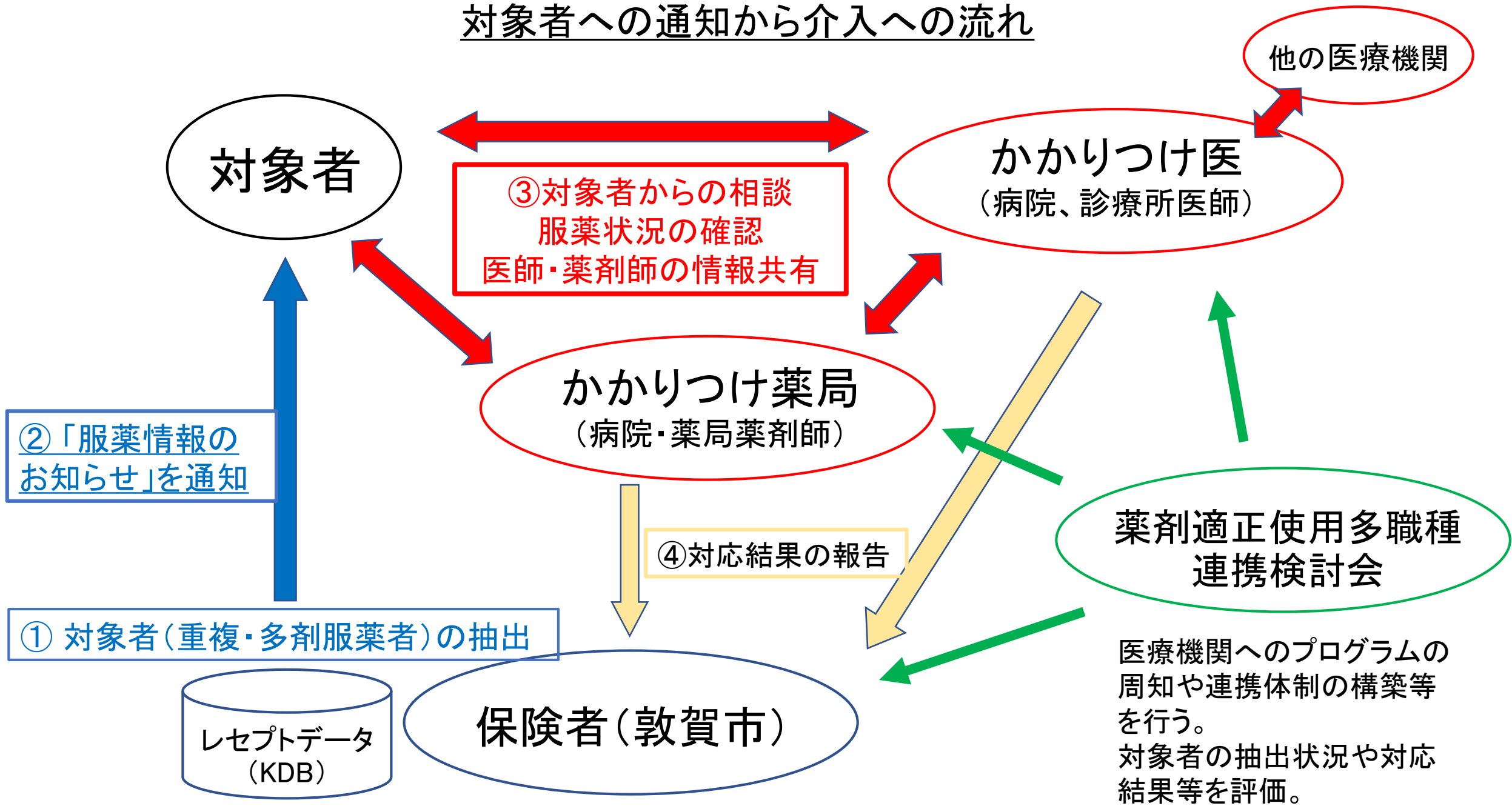
処方見直し・調整 ⇒ ☐あり ☐なし

処方の見直しが得られた事例があり、一定の効果があつた印象。

通知書の目的が理解できない、不信感がある等の理由で持参されない事例もある。対象者への十分な説明が必要。

第2回 薬剤適正使用に関するアンケート結果

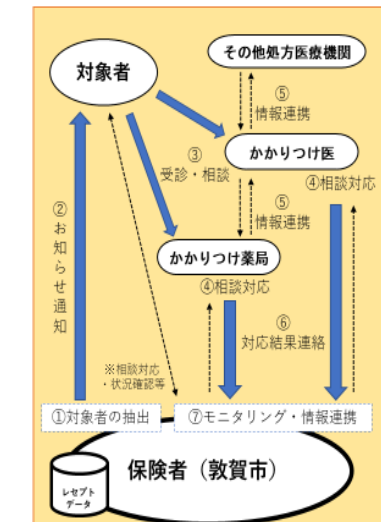
対象者への通知から介入への流れ



薬剤適正使用に対するかかりつけ医の役割

#1 日常診療における取り組み

#2 地域医療連携の活用



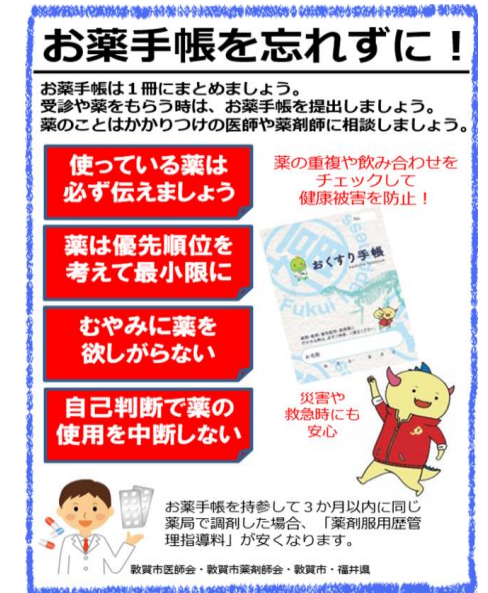
#1 日常診療における取り組み(1)

お薬手帳の確認

- 受診時に必ず持参頂くように説明
- 基本的にひとり一冊
- 院内処方の際も手帳に薬剤情報を記載
- 他の医療機関での処方の有無を確認する
- (不要な薬の確認、残薬の確認)

薬の相互作用の確認

- 他科・専門外の薬、薬手帳に記載されない市販薬・サプリメント等にも注意。
- 薬剤師と協力し、積極的に情報を共有する。



#1 日常診療における取り組み（2）

薬剤適正使用検討対象者への対応

- 患者から相談があったら、速やかに服薬状況を確認する。
- 必要に応じて自院処方薬を見直す（中止・減量・他剤への変更）
- 他の医療機関との情報共有を積極的に行う。

有害事象発生時の対応

- 有害事象の症状、程度や服薬状況を速やかに確認、被疑薬を中止する。被疑薬中止後の改善の有無をモニタリングする。
- 他の医療機関との情報共有を行う。
- 患者自身にも十分な情報伝達を行う。

#1 日常診療における取り組み（3）

オンライン資格確認

マイナンバーカードの健康保険証を利用することで下記を閲覧可能
(本人の同意が必要)。

- 特定健診情報
- 薬剤情報
- 診療情報

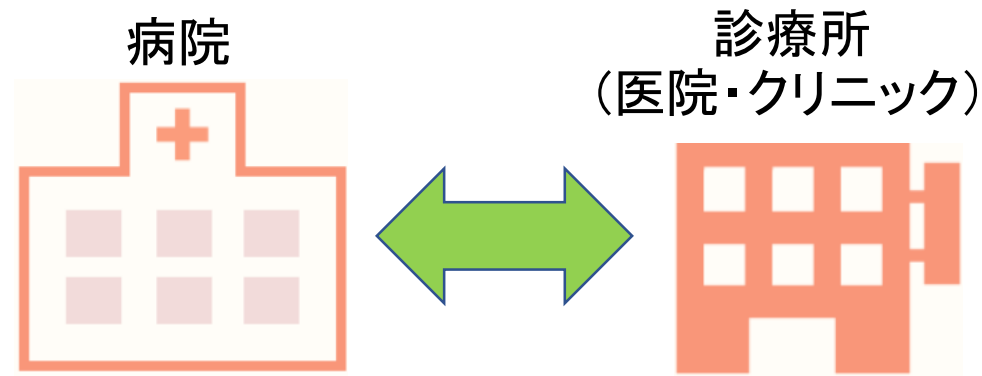
電子処方箋の導入も含め、情報の参照・共有が可能となる。



#2 地域医療連携の活用

入院・退院時、紹介・逆紹介時における服薬の調整

- ・ 薬の継続の必要性の検討
- ・ 薬を追加・中止した際の情報共有の徹底
- ・ 残薬の確認
- ・ 患者さんの教育（アドヒアランス不良、 unnecessary 複数医療機関受診例など）



医療機関同士の密な連携が必要

病院⇔病院、診療所⇔診療所なども同様

今後の課題

- 福井県全体での事業を進めるにあたり、各自治体での多職種連携体制の整備が必要。
- 病院において、複数の医師(科)診療による重複・多剤処方に対する院内での対策、診療所や薬局との連携強化が必要。
- 自治体からの対象者(患者)への通知のみでは、対象者と医療者との信頼関係を損なう可能性があるため、医療者の介入が必要。
- 国保データベースによる重複・多剤対象者の抽出方法の検討が必要。



県内機関数

病院	67	(5)
診療所	446	(33)
薬局	305	(30)

(敦賀市)

本事業の取り組みにより、医療機関（病院、診療所、薬局）や
自治体など多職種との連携体制の構築が得られ
患者さんの健康維持・向上が期待できる。

各医療機関、自治体等関係者の皆様
ご協力のほどよろしくお願いいたします。